



# スーパークールオイルクーラーキット 取扱説明書

商品番号 : 09 - 07 - 215 (4 - FIN)  
: 09 - 07 - 2151 (3 - FIN)  
適応車種 : Ape 50 / 100  
: XR 50 / 100 モタード  
(当社製ボアアップキット又は当社製Mgクラッチカバー装着車両)

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

## ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。  
この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。  
商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。  
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。  
当製品は、上記適応車種に当社製部品を取り付けた車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。  
補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。  
当製品は記載に合致する車両で、当社製Mgクラッチカバーあるいは、当社製ボアアップキットを装着している車両に対応しております。また両製品とも装着の車両に限ってはオイルの取り出し方式を選択することが可能となっております。  
Mgクラッチカバー装着車両ではカバー部が傷付かない様に注意し、作業を行って下さい。塗装部が剥がれてしまった場合、剥がれた部分のみでも再塗装を行って下さい。

下記オプションパーツが取り付け可能となっております。

### オプションパーツ

#### オイルクーラープレート

- ・09 07 021:4 Fin type (ブルー)
- ・09 07 022:4 Fin type (レッド)
- ・09 07 023:4 Fin type (ゴールド)
- ・09 07 025:3 Fin type (ブルー)
- ・09 07 026:3 Fin type (レッド)

#### オイルクーラーガード(上記オイルクーラープレートが必要)

- ・09 07 002:4 Fin type
- ・09 07 006:3 Fin type



## 注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り適法運転を心掛けて下さい。  
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。  
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。



## 警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

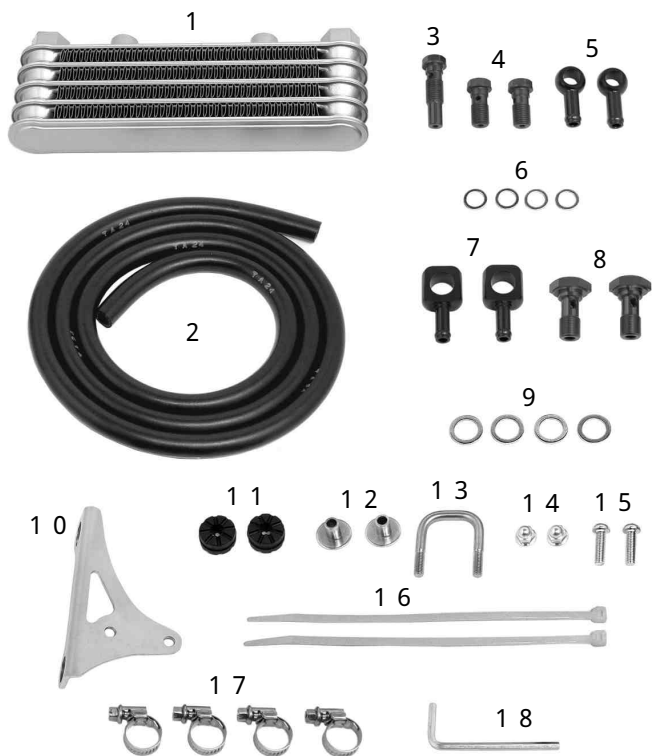
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。  
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。  
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。
- ・エンジン始動前には必ずオイル量を点検して下さい。オイル量が足りない場合はオイルを足して下さい。また説明書、サービスマニュアル指定の交換時期、距離に達している場合はオイル交換を行って下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて戴きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

## ～商品内容～

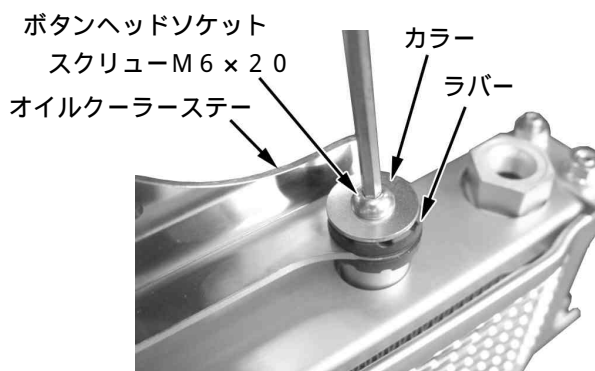


番号	部品名	個数
1	オイルクーラーCOMP.	1
2	オイルホース(1500mm)	1
3	パンジョーボルト M10(ロング)	1
4	パンジョーボルト M10(ショート)	2
5	ストレートアダプター M10	2
6	シーリングワッシャ 10mm	4
7	オイルユニオン M12	2
8	パンジョーボルト M12	2
9	シーリングワッシャ 14mm	4
10	オイルクーラーステー	1
11	ラバー	2
12	カラー	2
13	Uボルト	1
14	フランジキャップナット	2
15	ボタンヘッドソケットスクリュー M6X20	2
16	インシュロックタイ 200mm	2
17	ホースクランプ	4
18	6角棒レンチ 4mm	1

## ～取り付け要領～

1. キット内容を確認します。
2. 作業に適した工具を用意します。
3. 車両をメンテナンススタンド等でしっかりと安定させ、ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、Lシユラウドを取り外します。アップタイプマフラーを取り付けている場合、一度取り外して作業を行ってください。
4. キット付属のオイルクーラーステーにラバーを取り付け、取り付けられたラバーにカラーを装着します。
5. オイルクーラーとオイルクーラーステーをボタンヘッドスクリュー6X20にキット付属のワッシャを通し、取り付けます。  
注意：規定トルクを必ず守ってください。

$$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



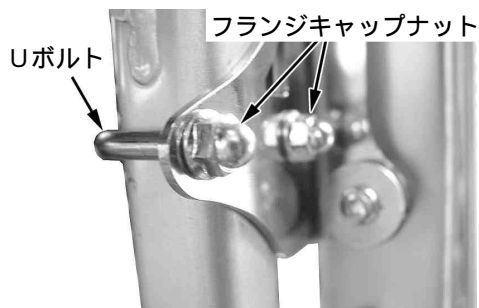
6. パンジョーボルトM12にシーリングワッシャ14mm、オイルユニオンM12、シーリングワッシャ14mmの順に通し一番下のシーリングワッシャ14mmがオイルクーラーヘッダー(六角部分)の凹部から外れないように仮締めします。  
注意：規定トルクを必ず守ってください。

$$T = 22.5 \text{ N} \cdot \text{m} (2.3 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$

シーリングワッシャ14mmがオイルクーラーヘッダーから外れた状態で締め付けた場合、オイル漏れの原因となります。トルクをかけて締め付ける際は必ずオイルユニオンM12の位置を決定してから締め付けて下さい。

7. オイルクーラーステーをキット付属のUボルトとフランジフクロナットを使用し、写真を参考にシフレームを挟み込む様に取り付けます。  
注意：規定トルクを必ず守ってください。

$$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



フレームの溶接跡に接触しないように取り付けを行ってください。必ずステアリングシステムを左右一杯に切りシステムにオイルクーラーが干渉しないのを確認し取り付けして下さい。

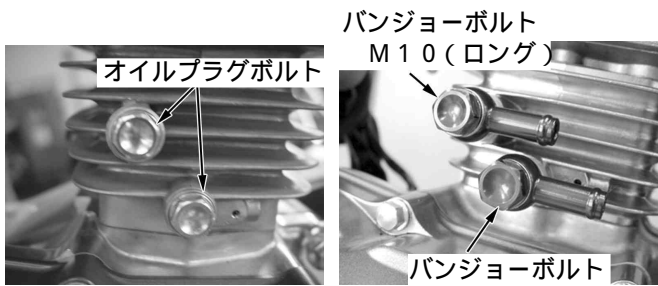
8. この工程は車両装着部品により作業が異なる為、装着部品を確認の上作業を行ってください。  
当社製シリンダーとMgクラッチカバーの両者の部品を取り付けている場合、どちらの作業を行って貰って結構です。

～シリンダーのオイルラインから取り出す場合～

1. シリンダー右部のオイルライン取出し穴のオイルプラグボルトを取り外します。
2. バンジョーボルトM10にシーリングワッシャ10mm、ストレートアダプターM10、シーリングワッシャ10mmの順で通して仮締めします。  
バンジョーボルトM10（ロング）を上側のオイルラインに使用し、バンジョーボルトM10（ショート）を下側のオイルライン取出し穴に使用します。

注意：規定トルクを必ず守って下さい。

$$T = 13 \sim 15 \text{ N} \cdot \text{m} (1.3 \sim 1.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$

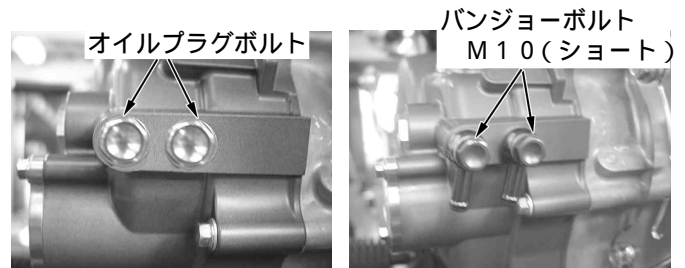


3. キット付属のオイルホース（1500mm）をマフラーに干渉しない寸法で切断し、オイルクーラー側のオイルユニオンM12、シリンダー側のバンジョーに差込み、ホースバンドで締め付けます。オイルホースを差し込む際、ユニオン、バンジョーにオイルを少量塗布すると差込み易くなります。
4. オイルクーラーユニオン、バンジョーの取り付け角度が決まればバンジョーボルトM10及びバンジョーボルトM12を規定トルクで締め付けます。オイルホースが遊ばないようにインシュロックタイでオイルホースを固定します。  
バンジョーボルトM12の締め付けはオイルクーラーヘッダー（6角部分）に必ずスパナ等かけた状態で行って下さい。
5. 取り付け要領（3）で取り外した部品を取り付けます。
6. エンジンオイルをオイルクーラーのF I Nが3段であれば80cc程度、4段であれば100cc程度追加し、エンジンを始動します。各部分からのオイル漏れの有無を確認し終わったらエンジンを止め、約一分後にオイルレベルゲージあるいはオイルポッドウインドのオイル量を確認し、少ない場合は必ず補充して下さい。

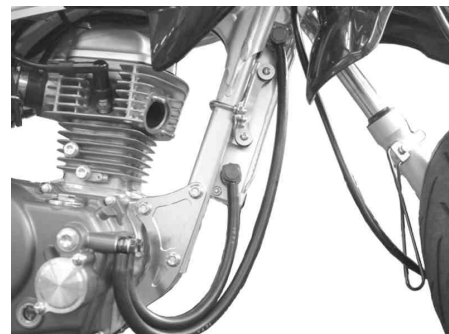
～Mgクラッチカバーのオイルラインから取り出す場合～

1. クラッチカバー側面部にあるオイルプラグボルトを取り外します。オイルプラグボルトを取り外す際、オイル受け皿を設ける事をお勧め致します。
2. バンジョーボルトM10（ショート）にシーリングワッシャ10mm、ストレートアダプターM10、シーリングワッシャ10mmの順で組み付け、取り外したボルト穴に写真を参考に組み込みます。  
注意：規定トルクを必ず守って下さい。

$$T = 13 \sim 15 \text{ N} \cdot \text{m} (1.3 \sim 1.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



3. キット付属のオイルホースを写真の取り回しを参考にし、オイルクーラー側のユニオン、カバー側のバンジョーに差込み、ホースバンドで締め付けます。  
オイルホースを差し込む際、ユニオン、バンジョーにオイルを少量塗布すると差込み易くなります。  
カバー側のホースバンドを締め付ける際は必ずカバー部に干渉しない位置で締め付けて下さい。



4. 以降の作業に関しては「～シリンダーのオイルラインから取り出す場合～」の工程4、5、6を参考にし、作業を行って下さい。

**SPECIAL PARTS TAKEGAWA**

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>